教員育成指標との関係 学習指導 : 第2ステージ

対面集合型研修

令和5年度 教科別研修講座 (C441 中学校美術科・高等学校芸術科美術) 手引き 美術科の探究的な授業づくりを考える ~ICT 活用で広がる可能性~

- 1 目標・新たな表現の可能性を拡げる ICT の活用ができる。
 - ・ICTを利用し表現と鑑賞のプロセスを有効につなぐ授業づくりができる。
- 2 主催 教育総合研究所
- 3 期日および会場 令和5年8月2日(水) 9:30~16:00 教育総合研究所
- 4 受講対象・定員 教諭・常勤講師・会計年度任用講師 30名 なお、この研修は、選択研修および中堅教諭等資質向上研修として位置付けられ ています。

5 日程

9:00~ 9:25 受付

9:30~ 9:35 開講式

9:35~10:50 美術教育で着目すべき造形的な見方・考え方 (講義)

10:50~11:00 一休憩一

11:00~12:00 授業改善の視点、授業づくりのポイント (講義・演習)

12:00~13:00 - 昼食休憩-

13:00~14:20 ICT を活用した制作及び鑑賞について (講義)

14:20~14:30 一休憩-

14:30~15:50 実技 (講義・演習)

15:50~16:00 研修のまとめ(振り返り)

6 講師紹介

安田 淳 (やすた あつし) 氏

石川県立鶴来高等学校教諭。高い指導力と専門性で、美術部顧問、作家としても活躍。1986年より石川県立高校教諭。石川県教育センター指導主事を経て、2022年より現職。高等学校学習指導要領(平成21年告示・平成30年告示)【芸術(美術工芸)編/美術編】改善協力者。『高校生の美術1・2・3/平成29年度版~令和6年度版)』著作。『求められる美術教育』を共著。令和4年度版『高等学校芸術科美術内容解説資料』執筆。

7 受講者へのお知らせ

- (1) 本講座は、対面集合型による教科別研修として実施します。当日は、本研究所の iPad を使用します。
- (2) 持参するもの
 - ・研修資料(研修日の5日前から以下の手順でダウンロードできます)

研究所のホームページ→SSO→「研修講座申込システム」→「受講申込」→「添付ファイル」

- ・教科書、資料集、年間計画・シラバス、授業で使用している用具(鉛筆、色鉛筆、絵の具、筆など)
- (3) 事前に、通信型研修「H441 中学校美術科~体で感じる学び~」または「H451 高等学校芸術科美術~授業づくりのポイント~」を受講してください。

事前アンケートを実施します。また「年間計画」「シラバス」を事前に提出してください。詳しくはメールにてお知らせいたします。

- (4) 車での来所の場合、研究所周辺は小学校の通学路となっていますので、速度 30km/h、一旦停止を 遵守してください。また、当日の誘導表示や係員の指示に従い、駐車場は決められた場所にお願い します。
- (5) 研究所には食堂・売店はありません。
- (6) 県では「クールビズ」を推進しています。上着やネクタイを着用しない軽装での受講をお願いします。
- (7) 教育総合研究所ホームページに「研修受講に際しての留意事項」があります。 ホームページもしくは右の QR コードから確認してください。



8 研修の参加に支障が生じたとき

申込み後、研修の参加に支障が生じたときは、管理職から電話で御連絡ください。欠席届はメール にて送付してください。欠席届に公印は不要です。

【連絡先】教育総合研究所 教職研修センター 専門研修課 0776-58-2160

【欠席届の様式】研究所のホームページ「研修の申込・案内」→「共通様式」からダウンロード ファイル形式: PDF ファイル名: 【勤務校略称_氏名】教科別 講座番号 欠席届 (例:【福井小_福井太郎】教科別 C001 欠席届)

【提出経路】受講者 → 管理職 → 福井県教育総合研究所

【欠席届の提出先】福井県教育総合研究所長 宛 s-kensyu@fec.fukui-c.ed.jp

9 研修の振り返り

事後アンケート (研修の直後に実施)



活用アンケート (研修の約3か月後に実施) 詳細はメールにて連絡します



お問合せ先

新教育課題研究課(中学校美術科·高等学校芸術科美術講座担当)担当:渡邉

電話: (0776)58-2170 E-mail: j-watanabe-ay@ma.fukui-ed.jp

ホームページ https://www.fukui-c.ed.jp/~fec/